

press release

Oct. 2024

Rediscovering the Beauty of Japan

In Memoriam: Photo Exhibition of Seishi Yagishita

公益財団法人日動美術財団 笠間日動美術館

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4

TEL 0296-72-2160

FAX 0296-72-5655

日本の美 再発見。

同時開催 追悼 柳下征史写真展

2025年1月2日(木)-3月9日(日)



藤島武二 《日の出》1931年頃（取材地：茨城県大洗海岸）笠間日動美術館蔵

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当館では、2025年1月2日(木)から3月9日(日)まで「日本の美 再発見。」「追悼 柳下征史写真展」を同時開催いたします。つきましては、以下に展覧会の詳細をご案内いたしますので、ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

記

◆開催趣旨

笠間日動美術館は、和田英作が描く「近江石山寺紫式部」をはじめとする歴史画や、熊谷守一や中川一政など軽妙な文字で人気を博した洋画家たちの書画を数多く所蔵しています。私たちが日本人であることをより実感する新年を迎え、本展では日本の歴史や四季の移ろいを捉えた書画や絵画を一堂に会します。さらに、2023年に惜しまれつつ他界した記録写真家 柳下征史の写真を展示します。歴史画や画家たちの個性的な書画、そして茨城の原風景を写し出す柳下の写真に、「日本の美」を再発見していただければ幸いです。

Kasama Nichido Art Museum has a large collection of historical paintings such as *Murasaki Shikibu in Omi Ishiyama-ji Temple* by Eisaku Wada, and calligraphy and paintings by Western-style artists such as Morikazu Kumagai and Kazumasa Nakagawa. With the coming of the New Year, we are more aware of our Japanese identity, this exhibition brings together calligraphy and paintings that capture the history of Japan and the changing seasons. In addition, the exhibition will feature the work of documentary photographer Seishi Yagishita, who sadly passed away in 2023. We hope you will rediscover the "beauty of Japan" in historical paintings, unique calligraphy by painters, and Yagishita's photographs which capture the original landscape of Ibaraki

https://www.nichido-museum.or.jp/english/exhibition_next_en.html

◆構成

I 歴史画

展示作家：二世五姓田芳柳、権田守吉、和田英作、渡部審也、ジョルジュ・ビゴー、チャールズ・ワグマンほか
2024年NHK大河ドラマの主人公、紫式部を描いた和田英作の作品を展示します。



和田英作《近江石山寺紫式部》1925年



二世五姓田芳柳《上杉景勝一笑図》1890

II 書と墨彩画

展示作家：岸田劉生、草野心平、熊谷守一、近藤浩一路、酒井三良、中川一政、藤島武二ほか



三宅一樹《聖櫃》2021年



北大路魯山人《染付詩文電気スタンド》

III 日本の四季

展示作家：金山平三、北連蔵、斎藤与里、向井潤吉ほか



斎藤与里 《お盆頃》 1952 年



北連蔵 《裏の橙》

上記作品はすべて笠間日動美術館蔵

追悼 柳下征史写真展

柳下征史(やぎしたせいし)は、茨城県常陸大宮市を拠点に活動した記録写真家です。茨城の原風景をテーマに写真を撮り続け、特に草屋根の家を中心に、ワラ葺きや茅葺きの民家を探し歩いて撮影。日立製作所で広報誌の制作に携わる傍ら、世界的な写真家ユージン・スミスとの出会いを経て写真家として独立しました。この度は遺族にご協力を賜り、ひだまりの暖かさを感じさせる写真作品を、企画展示館 2 階会場にて紹介します。



《農村の花嫁》 1968 年

茨城県久慈郡金砂郷村(現 常陸太田市)



《孤高・わび》 1993 年

茨城県久慈郡金砂郷村(現 常陸太田市)



《光りと蔭》 1993 年

茨城県那珂郡山方町(現 常陸大宮市)



《大場家住宅》 2006 年

茨城県石岡市

◆会期中のイベント

柳下知彦氏(柳下征史氏ご子息)と担当学芸員によるギャラリートーク

日 時: 1月11日(土)、2月8日(土) 各日午後2時から(約30分)

会 場: 企画展示館

◆展覧会の詳細

日本の美 再発見。同時開催 追悼 柳下征史写真展

会 期: 2025年1月2日(木)-3月9日(日)

会 場: 笠間日動美術館 企画展示館(茨城県笠間市笠間 978-4)

主 催: 公益財団法人 日動美術財団

開館時間: 午前10時より午後4時30分(入館受付は午後4時まで)

3月1日(土)からは、午前9時30分より午後5時(入館受付は午後4時30分まで)

休 館 日: 毎週月曜日(1月13日、2月24日は開館、翌日休館)

入 館 料: 大人1300円、65歳以上1000円、大学・高校生900円、中学生300円、小学生無料

20名以上の団体は各200円割引 障害者手帳をお持ちの方、その同伴者1名は半額割引

後援予定: 茨城県/茨城県教育委員会/笠間市/笠間市教育委員会/NHK水戸放送局/茨城放送/朝日新聞水戸総局/

茨城新聞社/共同通信社水戸支局/産経新聞社水戸支局/東京新聞水戸支局/毎日新聞社水戸支局/読売新聞水戸支局

担 当: 学芸部長 金澤 Email: kanazawa@nichido-garo.co.jp

〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 日動画廊内 日動美術財団 TEL 03-3571-2553

「日本の美 再発見。」 学芸員 湊 nichido.minato@gmail.com

「追悼 柳下征史写真展」 管理部長 亀山 k-museum@nichido-museum.or.jp

〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4 TEL 0296-72-2160

■ 交通案内

◆ JR 利用

・常磐線友部駅北口(9:50/10:50/11:50 発)より、かさま観光周遊バスで約15分

「日動美術館入口」下車徒歩1分(1回100円/1日フリー乗車券300円)

・水戸線笠間駅より徒歩約30分、レンタサイクル約10分、市内循環バスで約5分「日動美術館入口」下車徒歩2分

かさま観光周遊バス、またはレンタサイクルの利用が便利です。

◆ 自動車利用

・常磐道友部 JCT 経由、北関東道友部 IC より国道355号線経由約6km

・東北道栃木都賀 JCT 経由、北関東道笠間西 IC より国道50号線経由約8km

■ 次回企画展予告

中井精也写真展「Happy Train ～輝く季節の中で～」

中井さんの活動を代表するのが20年間欠かすことなく続けているブログ「1日1鉄!」。毎日1枚の写真と合わせ、彼の綴る言葉は、私たちの心に優しいエールを届け続けています。この度は写真展という形にしてお届けします。

関連展示: 鯉江充氏作品 ミニジオラマ 数点展示します。

会 期: 2025年3月15日(土)-5月25日(日) 会 場: 企画展示館

担 当: 学芸員 長谷川 Email: hasegawamidori310@gmail.com

以上